

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1970500623		
法人名	医療法人芙蓉会		
事業所名	グループホーム芙蓉		
所在地	山梨県笛吹市一宮町竹原田1359-1		
自己評価作成日	令和 5 年 11 月 15 日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
訪問調査日	令和 6年 1月 30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

桃畑・県立森林公園に隣接しており、春には桜、桃、夏には新緑、秋には紅葉狩りが楽しめ、施設内からも四季を感じることができる。また、広い中庭にはベンチがありゆったりとした時間を過ごす工夫がなされている。立地が良く徒歩圏内にショッピングセンターやホームセンターがあり気軽に買い物ができる環境となっている。自立支援介護に力を入れており、調理、炊事、洗濯、買い物など日常生活においてできることは自分でやり、職員が環境を整えることや、最低限の支援をすることで一つでも多くのことを自分で行えるような活動をしている。管理者が社用携帯にてSNSアプリ(LINE)を活用、家族に日々の活動を画像で配信、積極的に情報共有し、家族にも喜ばれている。面会についても体調確認後、時間を区切るなどし日常的に行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は県立森林公園に隣接し、散歩コースとして四季を楽しめたり、事業所内の広い中庭にも、あちらこちらにベンチを置くことで、ゆったりした時間を過ごせるように工夫された環境を整えています。また、自立支援の介護実践を目指し、「その人らしさ」の暮らしを提供できるように、本人の出来ることを生かした対応に力を入れ「自分が利用したくなる施設」作りを目標に掲げて、職員一丸となって取り組まれています。日常生活の中で、入居者さん個々が少しでも出来ることを見つけて、調理や洗濯干し等、自然に無理なく参加出来ることを日課に、本人のやり甲斐に繋げられるような環境を整えるための取り組みを展開されています。ご家族との交流も、SNSアプリを活用して、日常の様子を画像配信するなど、最新の方法を取り入れた取り組みをされています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている(参考項目:2,20) <b>(※窓越しの面会など距離をとった交流)</b>	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム芙蓉**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(西館)	ユニット名(東館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は事務所やフロアに掲示し、共有している。また、利用者目の届く場所にも掲示し職員がどのような理念で働いているかも認識してもらえるような実践方法をとっている。特に理念の一つにある「自分が利用したくなる施設」については日々、職員間で、このケアは自分が受けたらどう感じるか、どんなケアを受けたいか話し合う機会を多く設けている。	理念は事務所やフロアに掲示し、共有している。また、利用者目の届く場所にも掲示し職員がどのような理念で働いているかも認識してもらえるような実践方法をとっている。特に理念の一つにある「自分が利用したくなる施設」については日々、職員間で、このケアは自分が受けたらどう感じるか、どんなケアを受けたいか話し合う機会を多く設けている。	毎日、出勤時に確認できるように事務所内に貼り出し、理念の中に謳われている「自分が利用したくなる施設」を職員間で共有しています。日々の取り組みの際に振り返りができる、身近な理念として捉え、より良い支援に努めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣にショッピングセンター等もある事から、積極的に利用者と共に日用品や食品などの買い物を行っており、顔馴染みの関係が築けている。また、同町内の移動パン屋さんが来た時には利用者とともに食事前のパンを選び購入、販売員さんとの会話も楽しみの一つとなっている。	近隣にショッピングセンター等もある事から、積極的に利用者と共に日用品や食品などの買い物を行っており、顔馴染みの関係が築けている。また、同町内の移動パン屋さんが来た時には利用者とともに食事前のパンを選び購入、販売員さんとの会話も楽しみの一つとなっている。	毎週1度は、近くのスーパーに買い物に出かけたり、地元のマラソン大会開催時には、利用者の皆さんで応援に出向くなど、地域との交流に努め、顔馴染みとなる関係性を築けるように努めています。自治会には入っていませんが、ご近所への外出を重ねて、日常的な関係性を大切に交流を深めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症高齢者の接し方や病気に対する理解を深めて頂けるよう努めている。R5/7には認知症サポーター講座を開催、ご家族、民生員さん、区長さんに参加して頂き認知症への理解を深める活動を実践している。	認知症高齢者の接し方や病気に対する理解を深めて頂けるよう努めている。R5/7には認知症サポーター講座を開催、ご家族、民生員さん、区長さんに参加して頂き認知症への理解を深める活動を実践している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に入居者、ご家族、市役所担当者、地域包括担当者、区長さん、民生員さんを招き開催。活動状況を写真などで分かりやすく開示し、意見などを聞き取っている。議事録は参加者のみならず、職員に回覧、全ご家族に郵送し確認してもらい、会議で挙がった意見以外も抽出しサービス向上に活かしている。	奇数月に入居者、ご家族、市役所担当者、地域包括担当者、区長さん、民生員さんを招き開催。活動状況を写真などで分かりやすく開示し、意見などを聞き取っている。議事録は参加者のみならず、職員に回覧、全ご家族に郵送し確認してもらい、会議で挙がった意見以外も抽出しサービス向上に活かしている。	コロナ禍の中、事業所内の様子や活動を写真入りで掲載するなど、工夫された書面で伝えていました。様々なサービスを展開している法人の中、当事業所の良さを追求し、外部の意見を真摯に受け止め、職員全員で周知するなど、サービス向上に向けた運営に努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者より日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村の担当者に居室の空き情報等を伝える際、グループホームの活動状況を写真など分かりやすいツールを用い伝えている。市町村からも入居に関する問い合わせや相談があり、関係を築いている。	市町村の担当者に居室の空き情報等を伝える際、グループホームの活動状況を写真など分かりやすいツールを用い伝えている。市町村からも入居に関する問い合わせや相談があり、関係を築いている。	市町村とは、ご自宅で困っているご家庭はないか確認し、こちらの空き情報を伝えるなどして、日頃から相談しやすい関係に努めています。グループホーム内の様子を知って頂けるように配慮して、まずは見学や電話相談等で気楽にお声掛け頂けるようにしています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	フロア会議、必要時、研修を開き身体拘束について学習や検討を実施している。身体拘束を行わない事が基本だが、やむを得ない場合、家族に相談、同意書を頂く事、普段から、SNSアプリ(以下LINE)を通じ入居者の現状を知って頂く事で信頼関係を深めている。また、主治医との連携を密にし心身の安定が保たれるよう支援している。	フロア会議、必要時、研修を開き身体拘束について学習や検討を実施している。身体拘束を行わない事が基本だが、やむを得ない場合、家族に相談、同意書を頂く事、普段から、SNSアプリ(以下LINE)を通じ入居者の現状を知って頂く事で信頼関係を深めている。また、主治医との連携を密にし心身の安定が保たれるよう支援している。	現在は身体拘束を行っている事例はありませんが、研修を定期的に行い学びの場を設けて、日々の暮らしの中で虐待はないか、職員間で意識しながらケアに取り組まれています。ご家族とのやり取りも、SNSは便利のようですが、個人情報保護に関して心配な点もあるので、改めて今後検討していく予定です。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	フロア会議にて虐待の研修を行い、防止に向けて取り組んでいる。職員本人が気がつかないうちに虐待ではないかと思われる行為をしているときは、その場で言い合うことで職員の意識の向上に努めている。また、職員同士が意見を言いやすい関係を築くため、職員会議内でお互いの長所を言い合うなどの工夫をしている。	フロア会議にて虐待の研修を行い、防止に向けて取り組んでいる。職員本人が気がつかないうちに虐待ではないかと思われる行為をしているときは、その場で言い合うことで職員の意識の向上に努めている。また、職員同士が意見を言いやすい関係を築くため、職員会議内でお互いの長所を言い合うなどの工夫をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員それぞれが、法人内の研修会・市の連絡協議会・その他外部研修に参加し、学ぶ機会を設けている。参加できなかった職員には、後日伝達講習を通して伝え、職員全員が理解を深めるよう努力している。	職員それぞれが、法人内の研修会・市の連絡協議会・その他外部研修に参加し、学ぶ機会を設けている。参加できなかった職員には、後日伝達講習を通して伝え、職員全員が理解を深めるよう努力している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前の面談、見学の段階から、施設の取り組みについて説明を行っている。契約の締結、解約の際には入居者や家族の不安や疑問点を聞き、説明し、理解してもらえるように関わっている。	入居前の面談、見学の段階から、施設の取り組みについて説明を行っている。契約の締結、解約の際には入居者や家族の不安や疑問点を聞き、説明し、理解してもらえるように関わっている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム芙蓉**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(西館)	ユニット名(東館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	新型コロナウイルスが5類になりご家族との面会の機会は増えましたが、今まで通りLINEを通して日々の生活の様子や心身状態をタイムリーかつ、リアルタイムに伝える機会を多く持ち、ご家族の意見や要望を職員のグループラインにて発信し共有することでスピード感を持って運営に反映することができている。	新型コロナウイルスが5類になりご家族との面会の機会は増えましたが、今まで通りLINEを通して日々の生活の様子や心身状態をタイムリーかつ、リアルタイムに伝える機会を多く持ち、ご家族の意見や要望を職員のグループラインにて発信し共有することでスピード感を持って運営に反映することができている。	面会時やケアプランを送る際に、ご家族の要望や意向、意見などを聞き取り、全職員が共有できるようにSNSで発信して、より良い事業所運営に取り組まれています。入居者ご家族から「ここに入る前は、每晚、晩酌していた」とのお話を受け、ノンアルコールビールを提供するなど、ご家族のご希望に応えています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する事はフロア会議等で職員に伝えている。会議の中で職員の意見を聞き、検討、抽出した意見を上申し、共有した意見は運営に反映している。	運営に関する事はフロア会議等で職員に伝えている。会議の中で職員の意見を聞き、検討、抽出した意見を上申し、共有した意見は運営に反映している。	毎朝の会議や定例のフロア会議等で職員の意見を聞き、互いに意見を交わし合える雰囲気、管理者を中心に作り上げています。転倒リスクを伴う利用者さんの事例から、どうしたら事故を減らせるか細かい記録を取り、参考資料を読み込み、かかりつけ医からの説明を受けるなどして、リスクを抱えた事例解決に向けて、職員全体で取り組んでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者や管理者は職員と話し合いをもっている。職員が無理なく勤務できるよう、ライフスタイルに合わせ時短就業、夜勤専従勤務などが選択できるよう工夫している。また、スキル、仕事に対する姿勢に合わせ時給アップを図るなどやりがいを持って働ける環境を整えている。	代表者や管理者は職員と話し合いをもっている。職員が無理なく勤務できるよう、ライフスタイルに合わせ時短就業、夜勤専従勤務などが選択できるよう工夫している。また、スキル、仕事に対する姿勢に合わせ時給アップを図るなどやりがいを持って働ける環境を整えている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修会や施設外の研修へ積極的に参加するよう促している。長期間の研修などは勤務の調整を行い、研修費用を負担するなど職員がスキルアップが行いやすい配慮を行っている。	法人内の研修会や施設外の研修へ積極的に参加するよう促している。長期間の研修などは勤務の調整を行い、研修費用を負担するなど職員がスキルアップが行いやすい配慮を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	国道を挟んだ場所にある同法人には老人保健施設、通所リハビリ、短期入所介護などがあり、法人内の職員交流は盛ん。また、企業用SNSアプリを通じて頻繁に情報交換をしている。また、管理者がケアマネジャー・映東支部役員を務めており、他施設の情報を職員に共有、コロナ禍でなければお互いに見学の機会を設けている。	国道を挟んだ場所にある同法人には老人保健施設、通所リハビリ、短期入所介護などがあり、法人内の職員交流は盛ん。また、企業用SNSアプリを通じて頻繁に情報交換をしている。また、管理者がケアマネジャー・映東支部役員を務めており、他施設の情報を職員に共有、コロナ禍でなければお互いに見学の機会を設けている。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの導入する段階で、本人の思いが表出できるよう、オープンクエスチョン、クローズドクエスチョン、非言語コミュニケーションなどを駆使、心身状態の観察も行い、困っている事、必要としている事を抽出、本人との関係が早期に築けるように努力している。また、ご家族からも本人の生い立ちや日頃から口にしていたことを聞き取る。	サービスの導入する段階で、本人の思いが表出できるよう、オープンクエスチョン、クローズドクエスチョン、非言語コミュニケーションなどを駆使、心身状態の観察も行い、困っている事、必要としている事を抽出、本人との関係が早期に築けるように努力している。また、ご家族からも本人の生い立ちや日頃から口にしていたことを聞き取る。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入前に、ご家族の思いが表出できるよう話し合いを持ち情報収集し、言葉に出来ない思いを推しはかり不安な気持ちに寄り添うことで、ご家族との関係が早期に築けるよう努力している。	サービス導入前に、ご家族の思いが表出できるよう話し合いを持ち情報収集し、言葉に出来ない思いを推しはかり不安な気持ちに寄り添うことで、ご家族との関係が早期に築けるよう努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス導入段階で、入居者、家族の思いを聞き、希望に添うように努めている。一例としては、入居後の歯科往診、訪問理容サービス、歩行器や杖など、福祉用具導入アドバイスなどがある。	サービス導入段階で、入居者、家族の思いを聞き、希望に添うように努めている。一例としては、入居後の歯科往診、訪問理容サービス、歩行器や杖など、福祉用具導入アドバイスなどがある。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の思いに寄り添い喜怒哀楽をともにし、利用者の「持ちうる力」に焦点をあて支援をする。どの部分に手を貸し、環境を整えれば、「持ちうる力を最大限に発揮し、自立した生活が営めるのか」を見極め、ともに暮らす者同士の関係を築いている。	入居者の思いに寄り添い喜怒哀楽をともにし、利用者の「持ちうる力」に焦点をあて支援をする。どの部分に手を貸し、環境を整えれば、「持ちうる力を最大限に発揮し、自立した生活が営めるのか」を見極め、ともに暮らす者同士の関係を築いている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム芙蓉

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(西館)	ユニット名(東館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族からの支援は入居者にとって大きな喜びであり、ご家族も入居者の支えになっている事が喜びである。LINEを用いてご家族と情報の共有をリアルタイムに行い、入居者とご家族が今まで築いた関係性を大切にしながら、日々のケアを行っている。	ご家族からの支援は入居者にとって大きな喜びであり、ご家族も入居者の支えになっている事が喜びである。LINEを用いてご家族と情報の共有をリアルタイムに行い、入居者とご家族が今まで築いた関係性を大切にしながら、日々のケアを行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルスが5類になり面会は増えましたが、遠方の方には手紙のやり取り、やり取りが難しい方には代読や代筆支援などを行っている。また、家族のみならず教職についていた方の教え子が面会に訪れたり、自宅で飼っていた愛犬を連れて来る家族がいたり関係が途切れない支援に努めている。	新型コロナウイルスが5類になり面会は増えましたが、遠方の方には手紙のやり取り、やり取りが難しい方には代読や代筆支援などを行っている。また、家族のみならず教職についていた方の教え子が面会に訪れたり、自宅で飼っていた愛犬を連れて来る家族がいたり関係が途切れない支援に努めている。	馴染みの関係性が途切れない様に、教員だった時の教え子と面会をしたり、農家だった利用者さんは、畑など馴染みの場所に出かけるなど、個々に寄り添った支援で、関係性の途切れないケアに努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係を考慮し席順を配置。顔なじみの関係ができることで、お茶を淹れあう、洋服の着脱の手伝い、簡単なフロア内の移動、炊事、掃除を一緒に行うなど支えあう姿が多くみられている。	入居者同士の関係を考慮し席順を配置。顔なじみの関係ができることで、お茶を淹れあう、洋服の着脱の手伝い、簡単なフロア内の移動、炊事、掃除を一緒に行うなど支えあう姿が多くみられている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後、ご家族が来所された際や、折りに触れ電話をする等して近況を尋ね「必要な支援をさせていただきます」と伝えている。現在も入院を理由に退所された方の家族と電話でやり取りを続けており、退院後の入所先を紹介するなど支援を継続している。	契約終了後、ご家族が来所された際や、折りに触れ電話をする等して近況を尋ね「必要な支援をさせていただきます」と伝えている。現在も入院を理由に退所された方の家族と電話でやり取りを続けており、退院後の入所先を紹介するなど支援を継続している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知症の進行等により会話が難しい方、言葉に出来ない想いをもっている方の表情や言動の観察を行いオープンクエスチョンやクローズドクエスチョン、非言語的コミュニケーションを用い、入居者の気持ちに寄り添うケアが出来るよう努力している。また、ご家族からも生活歴や本人の普段の言動から想いを推し量り意向に添えるよう支援している。	認知症の進行等により会話が難しい方、言葉に出来ない想いをもっている方の表情や言動の観察を行いオープンクエスチョンやクローズドクエスチョン、非言語的コミュニケーションを用い、入居者の気持ちに寄り添うケアが出来るよう努力している。また、ご家族からも生活歴や本人の普段の言動から想いを推し量り意向に添えるよう支援している。	言葉でのコミュニケーションがとれない利用者さんは、表情から意向を察しています。言葉でのやり取りが可能な方は、日頃の会話から関わりを深め、信頼関係を築き、不意に出た言葉で察したりしています。過去の経験をヒントにして、本人の今の意向を探るなど、より良い支援に繋げられるように工夫した対応に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居が決まった時点で、生活歴、入居前の暮らし、ご家族との関わり方などを調べ職員全体で共有、入居後も日々の言動やご家族からの聞き取りなどで情報収集を絶えず行っている。	入居が決まった時点で、生活歴、入居前の暮らし、ご家族との関わり方などを調べ職員全体で共有、入居後も日々の言動やご家族からの聞き取りなどで情報収集を絶えず行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の入居者に日々チームとしてかかわる中で表情や言動の観察を細やかにに行い、できないと決めつけるのではなく、どうすればできるかを職員が検討、共有し入居者の持っている力を最大限に引き出す努力をしている。	一人一人の入居者に日々チームとしてかかわる中で表情や言動の観察を細やかにに行い、できないと決めつけるのではなく、どうすればできるかを職員が検討、共有し入居者の持っている力を最大限に引き出す努力をしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一度、入居者一人一人のケア会議開催、短期目標立案前には、担当者会議を開催している。利用者の変化や新たな課題などを発見し、ご家族との情報交換にも力を入れ、現状に即したケアが実践できるよう支援している。	月に一度、入居者一人一人のケア会議開催、短期目標立案前には、担当者会議を開催している。利用者の変化や新たな課題などを発見し、ご家族との情報交換にも力を入れ、現状に即したケアが実践できるよう支援している。	ケアプランの目標を毎月確認し合い、職員全員で細かい観察を継続して、日々のケアに努めています。十分な睡眠が取れない方への入眠状況をチェック表に作成し、データを集計したところ、特定の利用者が十分に眠れていないことが結果として現れ、その後のケアに繋げるなど、チーム一丸となり、適切な介護を探究されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の日々の様子を、誰が見ても理解できる手法、ツール(プリストスケール、記録画像など)を用い記録、プライバシーに配慮しながらグループラインでスピーディーに共有することで日々のケアに活かして介護計画の見直しの際にも活かされている。	利用者の日々の様子を、誰が見ても理解できる手法、ツール(プリストスケール、記録画像など)を用い記録、プライバシーに配慮しながらグループラインでスピーディーに共有することで日々のケアに活かして介護計画の見直しの際にも活かされている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム芙蓉**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(西館)	ユニット名(東館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者が求めているものは何かアセスメントを重ねニーズを見極め柔軟なサービスが提供できるよう支援している。希望者(必要と思われる方)には歯科往診、歯科衛生士訪問、訪問マッサージ、訪問理美容など主取り入れている。	利用者が求めているものは何かアセスメントを重ねニーズを見極め柔軟なサービスが提供できるよう支援している。希望者(必要と思われる方)には歯科往診、歯科衛生士訪問、訪問マッサージ、訪問理美容など主取り入れている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括支援センター、近隣の皮膚科、耳鼻科、歯科、病院、薬局、消防署、商店、民生委員、区長、ボランティアの力を借りている。	地域包括支援センター、近隣の皮膚科、耳鼻科、歯科、病院、薬局、消防署、商店、民生委員、区長、ボランティアの力を借りている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の希望がある場合には利用者ご家族の意向を尊重し、継続的な医療が受けられるよう支援している。	かかりつけ医の希望がある場合には利用者ご家族の意向を尊重し、継続的な医療が受けられるよう支援している。	入居時の際、重要事項説明書のホーム利用にあたっての留意点において、当ホーム指定以外の医療機関に通院の際は、ご家族の付き添いをお願いして、継続できる環境を整えています。事業主体が医療法人の為、看護師は常駐し、訪問看護対応もあるなど、適切な医療を受けられる協力体制が整っています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回訪問看護師が来所している。また、それ以外にも同法人の看護師との連携も取れており、ストマ使用の利用者の皮膚トラブルの処置なども行え、介護と看護の連携を密にすることで適切な医療や看護が受けられるよう支援している。	週1回訪問看護師が来所している。また、それ以外にも同法人の看護師との連携も取れており、ストマ使用の利用者の皮膚トラブルの処置なども行え、介護と看護の連携を密にすることで適切な医療や看護が受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院する際は生活歴、家族関係、既往歴、現病、日々の生活の様子、ADLなどをご家族の承諾を得て、情報提供し、利用者に適した治療、ケアが受けられるように支援している。また、入院中の機能低下、環境変化による精神的不安を最小限にするため、短期間で退院ができるよう入院先の関係者と頻りに連絡を取り合い支援している。	入院する際は生活歴、家族関係、既往歴、現病、日々の生活の様子、ADLなどをご家族の承諾を得て、情報提供し、利用者に適した治療、ケアが受けられるように支援している。また、入院中の機能低下、環境変化による精神的不安を最小限にするため、短期間で退院ができるよう入院先の関係者と頻りに連絡を取り合い支援している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時、ご家族、利用者に終末期の過ごし方、看取りの希望があるかなど確認する。入居後も日々変化する状態に対し、ご家族、各専門職が情報共有を密にし、終末期をどんなふうに通ごしたいか、見送りたいか、何を行うか、行わないのか確認しあい、ご家族の気持ちに寄り添えるよう支援している。	入居時、ご家族、利用者に終末期の過ごし方、看取りの希望があるかなど確認する。入居後も日々変化する状態に対し、ご家族、各専門職が情報共有を密にし、終末期をどんなふうに通ごしたいか、見送りたいか、何を行うか、行わないのか確認しあい、ご家族の気持ちに寄り添えるよう支援している。	看取りは、利用者やご家族の希望に応じ、今までも実践してきています。状態が変わるごとに再確認を行い、ご家族の今の意向を的確に捉え、必要に応じて専門職の意見を伺いながら、出来ることを職員全員で考え、看取りに向けた支援を展開されています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変に備え、予測される対処法や、ご家族、各専門職の連携について潤滑に行えるよう職員会議で話し合っている。また、急変時のフローチャートも作成、各ユニットの見やすい位置に掲示、職員が共有できるようにしている。	急変に備え、予測される対処法や、ご家族、各専門職の連携について潤滑に行えるよう職員会議で話し合っている。また、急変時のフローチャートも作成、各ユニットの見やすい位置に掲示、職員が共有できるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日勤帯、夜勤帯想定避難訓練を月1回実施し災害に備えている。特に新人職員には避難用具、消火器、消火栓の位置、避難場所までの経路を確認するよう徹底している。また、地域の消防署と連携し夜間想定避難訓練を年1回実施している。また、当グループホームは川に近い場所にあるため水害時などは近くにある同法人建物(3階建て)に非難するなど協力体制も整っている。	日勤帯、夜勤帯想定避難訓練を月1回実施し災害に備えている。特に新人職員には避難用具、消火器、消火栓の位置、避難場所までの経路を確認するよう徹底している。また、地域の消防署と連携し夜間想定避難訓練を年1回実施している。また、当グループホームは川に近い場所にあるため水害時などは近くにある同法人建物(3階建て)に非難するなど協力体制も整っている。	毎月1度の避難訓練を行い、緊急時の意識を高めています。年に1度は地元消防署立ち合いのもと、消火器、非常ベル等の位置確認や使用方法などを再確認しています。近くに川が流れている為、水害時には同法人の老人健康施設が緊急避難場所になっており、BCP計画も整備され、協力体制も整っています。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々のケアで入居者の自尊心やプライバシーを守る言葉かけや対応を心がけている。また、配慮に欠けるケアをしている職員にはその都度、理由や根拠を説明し入居者の尊厳やプライバシーを守るケアの実践ができるようにしている。	日々のケアで入居者の自尊心やプライバシーを守る言葉かけや対応を心がけている。また、配慮に欠けるケアをしている職員にはその都度、理由や根拠を説明し入居者の尊厳やプライバシーを守るケアの実践ができるようにしている。	日常生活の中で言葉のかけ方に配慮し、特にトイレへの誘導時の声掛けや排泄状況の確認などは、周りに配慮を十分に行っています。恥ずかしい思いやプライドを傷つけないように配慮した取り組みで、利用者の皆さんのプライバシーが確保できるように日々努めています。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホーム芙蓉

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(西館)	ユニット名(東館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	オープンクエスチョンなどを用い、言葉を引きだし本人の意思や意向を確認、実行できるよう支援している。会話のできない方、想いをうまく表現できない方に関しては、表情、行動の観察、言葉かけを行い、何をしたいかなど自己決定できるように働きかけている。	オープンクエスチョンなどを用い、言葉を引きだし本人の意思や意向を確認、実行できるよう支援している。会話のできない方、想いをうまく表現できない方に関しては、表情、行動の観察、言葉かけを行い、何をしたいかなど自己決定できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	入浴や買い物、外出など希望や、その方のライフスタイルに合った1日が過ごせるよう意見、意向を聞き希望に添えるよう支援している。	入浴や買い物、外出など希望や、その方のライフスタイルに合った1日が過ごせるよう意見、意向を聞き希望に添えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服、服飾品など好みのものを選んで頂いている。就寝前にはパジャマに着替え、昼と夜、メリハリのある生活ができるよう支援している。	洋服、服飾品など好みのものを選んで頂いている。就寝前にはパジャマに着替え、昼と夜、メリハリのある生活ができるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	主菜、副菜は湯せんで温めるだけのものを使用しているが、味噌汁やおやつは手作りが多く、特に味噌汁などは、具材を職員とともに近くのスーパーに買いに行き選び、入居者が主体となって調理している。配膳や盛り付け、刻み食作り、食器の片付けも毎日一緒にやっている。	主菜、副菜は湯せんで温めるだけのものを使用しているが、味噌汁やおやつは手作りが多く、特に味噌汁などは、具材を職員とともに近くのスーパーに買いに行き選び、入居者が主体となって調理している。配膳や盛り付け、刻み食作り、食器の片付けも毎日一緒にやっている。	月に1回以上は、おやつを利用者の皆さんと一緒に作って楽しんでいます。ホットケーキを焼いて、あんこをのせるなど、皆さんに喜んでもらえるように工夫して楽しんでいます。食事形態も個々の体調に配慮した提供を行っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の心身状態、嚥下状態、体重の増減、食の好みなどを把握し、健康維持に必要な量や栄養バランスに配慮した食事、間食、水分などを提供している。	一人一人の心身状態、嚥下状態、体重の増減、食の好みなどを把握し、健康維持に必要な量や栄養バランスに配慮した食事、間食、水分などを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前に必ず口腔体操、毎食後口腔ケアを行っている。また、入居者、ご家族の希望や必要があれば定期的な歯科往診、歯科衛生士訪問を取り入れ、口腔ケアの充実にも努めている。	食事前に必ず口腔体操、毎食後口腔ケアを行っている。また、入居者、ご家族の希望や必要があれば定期的な歯科往診、歯科衛生士訪問を取り入れ、口腔ケアの充実にも努めている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレで排泄することを基本にしている。オムツを使用する際にはその方の排泄パターンを把握し、その方に適した交換時刻、パッド類の選定をしている。	トイレで排泄することを基本にしている。オムツを使用する際にはその方の排泄パターンを把握し、その方に適した交換時刻、パッド類の選定をしている。	トイレでの排泄を基本に、パットやリハビリパンツを使用するなどして、無理なく、安心して暮らせるように配慮し、個々のサインを見逃さないように対応し、さりげなく寄り添いながらのケアに努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	それぞれの便秘の原因究明を職員間の情報共有にて行い、その方にあった支援を行っている。具体的には1日1500cc以上の水分摂取励行、バナナを食べる、朝一番に牛乳を飲む、排泄パターンをつかむことで適切な時間にトイレ誘導しトイレに座っていただくなどの支援を行っている	それぞれの便秘の原因究明を職員間の情報共有にて行い、その方にあった支援を行っている。具体的には1日1500cc以上の水分摂取励行、バナナを食べる、朝一番に牛乳を飲む、排泄パターンをつかむことで適切な時間にトイレ誘導しトイレに座っていただくなどの支援を行っている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそって支援をしている	基本的には毎日入浴が望ましいが、年齢的なもの、体調などで実現できない方もいる。本人の意思に合わせて、週に最低2回以上の入浴ができるよう支援している。入浴時間も本人のペースに合わせるようにしている。	基本的には毎日入浴が望ましいが、年齢的なもの、体調などで実現できない方もいる。本人の意思に合わせて、週に最低2回以上の入浴ができるよう支援している。入浴時間も本人のペースに合わせるようにしている。	週に2回はお風呂に入って頂くように努め、その日、その時々意向に寄り添った支援に努めています。拒否される方は、時間を空けて誘うなどし、入浴拒否の場合は翌日に行うなど、臨機応変なサービスを展開されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者一人一人の状態に合わせ、自分の想いを表出できない方には表情、言動の観察、言葉かけを行い、入居者の状況を見極め、臥床、休息を勧めている。夜間は安眠できる環境整備(室温、湿度、リネン、照明など)をしている。	入居者一人一人の状態に合わせ、自分の想いを表出できない方には表情、言動の観察、言葉かけを行い、入居者の状況を見極め、臥床、休息を勧めている。夜間は安眠できる環境整備(室温、湿度、リネン、照明など)をしている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム芙蓉**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(西館)	ユニット名(東館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者が確実に内服できるよう職員が支援している。内服の効果が表れているか、副作用がないかなど、職員が確認し、各専門職との連携も密に取り合っている。	入居者が確実に内服できるよう職員が支援している。内服の効果が表れているか、副作用がないかなど、職員が確認し、各専門職との連携も密に取り合っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の一人一人に合った役割を持ち、日々を過ごせるようにしている。それは多岐にわたり、買い物、炊事、洗濯、掃除のみならず、日めくりをめくる、その日の天気をカレンダーに付けるなどの役割を持った方もいる。	入居者の一人一人に合った役割を持ち、日々を過ごせるようにしている。それは多岐にわたり、買い物、炊事、洗濯、掃除のみならず、日めくりをめくる、その日の天気をカレンダーに付けるなどの役割を持った方もいる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルスが5類になりコロナ禍では難しかったショッピングセンターに出かけ時期に合った洋服を購入したり、近くのスーパーに買い物、公園に散歩に出たりしている。家族と外出、お墓参りや食事に行く機会が増えるようになった。	新型コロナウイルスが5類になりコロナ禍では難しかったショッピングセンターに出かけ時期に合った洋服を購入したり、近くのスーパーに買い物、公園に散歩に出たりしている。家族と外出、お墓参りや食事に行く機会が増えるようになった。	コロナ禍では難しかった外出は、今ではショッピングを楽しめるようになり、近くのスーパーに出かけたり、天気の良い日は、近くの公園に散歩に出かけたりしています。外出の機会も増え、日常的な外出支援に取り組まれています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	食材の買い物に行く際は支払いを入居者に任せている。また、パンの訪問販売が来所した時には店員さんに値段を聞きながらパンを選ぶなど金銭感覚を保持できるような支援をしている。	食材の買い物に行く際は支払いを入居者に任せている。また、パンの訪問販売が来所した時には店員さんに値段を聞きながらパンを選ぶなど金銭感覚を保持できるような支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を手作り(貼り絵)しコメントや住所、名前が書ける方には書いていただき、ご家族あてに出した。また、作成している様子を動画撮影し、元旦にご家族に送信、手作り年賀状であることを知らせ、作っている過程を見ていただくことで受け取ったご家族の反応も大変良かった。	年賀状を手作り(貼り絵)しコメントや住所、名前が書ける方には書いていただき、ご家族あてに出した。また、作成している様子を動画撮影し、元旦にご家族に送信、手作り年賀状であることを知らせ、作っている過程を見ていただくことで受け取ったご家族の反応も大変良かった。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度、湿度、採光などを管理し居心地よい空間づくりの工夫をしている。季節感を感じられる空間となるよう季節の花、植物、展示物をフロアに飾るようになっている。また、レクリエーションや普段の様子を写真に撮り、掲示することでご家族も来所持、普段の様子を知ることができるよう工夫している。カレンダー、日めくり、干支をモチーフにした掲示物なども掲示している。	温度、湿度、採光などを管理し居心地よい空間づくりの工夫をしている。季節感を感じられる空間となるよう季節の花、植物、展示物をフロアに飾るようになっている。また、レクリエーションや普段の様子を写真に撮り、掲示することでご家族も来所持、普段の様子を知ることができるよう工夫している。カレンダー、日めくり、干支をモチーフにした掲示物なども掲示している。	各フロアには、利用者さん一人ひとりの顔写真が大きく貼り出され、個々の表情は穏やかで、フロア内の雰囲気明るく盛り上げています。各所に鉢植えの花が飾られ、室内でも季節の花を感じたり、緑を感じられるように工夫されています。7月の季節行事の折には、皆さんで短冊に願い事を書いて七夕を楽しんだり、クリスマスにはツリーの装飾を行うなど、皆さんと一緒に居心地のよい空間作りに努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にソファを置いたり、座席の移動を自由に行えることで、気分転換や気の合う入居者同士が集めるよう工夫している。	共有空間にソファを置いたり、座席の移動を自由に行えることで、気分転換や気の合う入居者同士が集めるよう工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の中には入居者や家族と相談し、使い慣れたテレビや家具、家族、ペットの写真、息子が幼い頃の写真を飾ることで自宅に近い環境を整え居心地よく過ごせる工夫がなされている。	居室の中には入居者や家族と相談し、使い慣れたテレビや家具、家族、ペットの写真、家族写真などを飾ることで自宅に近い環境を整え居心地よく過ごせる工夫がなされている。	利用者さん一人ひとりの意向をくみ取り、自室には、馴染みの家具やテレビを持ち込んだり、幼い時の子どもの写真を貼ったり、日めくりカレンダーを部屋の壁に貼り、その日を確認出来るようにしたり、それぞれが安心した毎日が送れるように、工夫された部屋作りに取り組まれています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な場所に手すりの配置配置や段差の解消など、安全に配慮した作りとなっている。壁面には日めくりカレンダー、月ごとのカレンダー、時計の掲示をしている。トイレはわかりやすく明示している。居室の入り口に入居している方の名前を貼るなどしてわかりやすくしている。	必要な場所に手すりの配置配置や段差の解消など、安全に配慮した作りとなっている。壁面には日めくりカレンダー、月ごとのカレンダー、時計の掲示をしている。トイレはわかりやすく明示している。居室の入り口に入居している方の名前を貼るなどしてわかりやすくしている。		